



2024年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月12日

上場会社名 株式会社 アルバイトタイムス
コード番号 2341 URL <https://www.atimes.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 欣弘
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 金子 章裕
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
TEL 03-5524-8725

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第2四半期の連結業績(2023年3月1日～2023年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	2,193	11.3	67		66		40	
2023年2月期第2四半期	1,971	14.4	38		20		23	

(注) 包括利益 2024年2月期第2四半期 46百万円 (%) 2023年2月期第2四半期 22百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	1.60	
2023年2月期第2四半期	0.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第2四半期	4,737	4,079	86.1	163.08
2023年2月期	4,809	4,212	87.6	163.96

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 4,079百万円 2023年2月期 4,212百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期		0.00		3.00	3.00
2024年2月期		0.00			
2024年2月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,401	8.8	70	27.5	72	6.6	67	53.7	2.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期2Q	30,837,249 株	2023年2月期	31,537,249 株
期末自己株式数	2024年2月期2Q	5,820,367 株	2023年2月期	5,844,067 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期2Q	25,292,813 株	2023年2月期2Q	25,992,989 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

当社は、以下のとおり投資家説明会を開催する予定です。

この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・2023年10月18日・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止に伴う行動制限が解除され、緩やかな景気回復の動きが見られました。一方で、ウクライナ情勢の長期化等によるエネルギー及び原材料価格の高騰、それに伴う物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境下、当社の戦略地域である静岡県の雇用情勢については、2023年8月の有効求人倍率が前年同月比0.1ポイント下降の1.20倍、また8月度の静岡県新規求人数は前年同月比6.0%減となるなど、弱含みな状況となっています。

このような状況において当社グループでは、採用管理システムを顧客に提供する『ワガシャ de DOMO』の販路拡販施策やオプション商品の開発を継続いたしました。また、静岡県内東部地域、中部地域、西部地域の各所において、リアルイベントである合同企業面談会『シゴトフェア』を開催いたしました。これらの販売拡大、商品価値向上のための成長コストとして人件費（前年同四半期比3.1%増）、広告販促費（前年同四半期比15.8%増）を投入しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は2,193百万円（前年同四半期比11.3%増）となりました。売上原価は664百万円（前年同四半期比9.8%増）、販売費及び一般管理費は1,462百万円（前年同四半期比4.1%増）となりました。前年同四半期と比較して増収分が寄与し、営業利益は67百万円（前年同四半期比105百万円増）、経常利益は66百万円（前年同四半期比86百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は40百万円（前年同四半期比63百万円増）となりました。

セグメント別の業績（セグメント間の内部取引消去前）を示すと、次のとおりであります。

（情報提供事業）

情報提供事業では、マッチング手法の多様化により求人広告メディアの売上は下げ止まりとなっているものの、採用管理システムを顧客に提供する『ワガシャ de DOMO』（サブスクリプション型課金モデル）や正規社員領域の販売強化を継続しており、売上高は1,896百万円（前年同四半期比14.4%増）、セグメント利益は394百万円（前年同四半期比37.3%増）となりました。

（販促支援事業）

販促支援事業では、主たる売上であるフリーペーパーの取次において、顧客の販売促進費圧縮やフリーペーパーの廃刊、休刊等により取次量は減少傾向にあります。一方、イベント・レジャー関連企業の集客活動は徐々に回復しつつあり、販促支援事業における売上高は306百万円（前年同四半期比5.0%減）、セグメント利益は30百万円（前年同四半期比8.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が4,737百万円（前連結会計年度末比1.5%減）、負債が658百万円（前連結会計年度末比10.3%増）、純資産が4,079百万円（前連結会計年度末比3.2%減）となりました。また、自己資本比率は86.1%となりました。

資産の部では、流動資産が3,459百万円（前連結会計年度末比2.9%減）となりました。これは、現金及び預金が2,927百万円（前連結会計年度末比3.5%減）、売掛金が408百万円（前連結会計年度末比7.1%減）等となったためです。

固定資産は1,278百万円（前連結会計年度末比2.5%増）となりました。これは、有形固定資産が556百万円（前連結会計年度末比1.1%減）、無形固定資産が531百万円（前連結会計年度末比10.0%増）、投資その他の資産が189百万円（前連結会計年度末比5.6%減）となったためです。

負債は658百万円（前連結会計年度末比10.3%増）となりました。これは、未払金が357百万円（前連結会計年度末比5.0%増）、賞与引当金が108百万円（前連結会計年度末比15.8%増）等となったためです。

純資産は4,079百万円（前連結会計年度末比3.2%減）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当により利益剰余金が4,091百万円（前連結会計年度末比3.8%減）、自己株式の取得及び消却により自己株式が1,011百万円（前連結会計年度末は1,034百万円）等となったためです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて106百万円減少し、2,927百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は135百万円（前年同四半期は21百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が66百万円、売上債権の減少額が31百万円、未払債務の増加額が24百万円となったためです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は66百万円（前年同四半期は132百万円の支出）となりました。これは、無形固定資産の取得による支出が66百万円となったためです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は180百万円（前年同四半期は181百万円の支出）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出が100百万円、配当金の支払額が78百万円等となったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期業績予想につきましては、2023年4月13日に公表いたしました業績予想を修正いたしません。

なお、今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,034,559	2,927,666
売掛金	439,993	408,953
その他	88,427	123,438
貸倒引当金	△639	△604
流動資産合計	3,562,341	3,459,453
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	103,887	100,483
土地	444,475	444,475
その他(純額)	14,488	11,807
有形固定資産合計	562,850	556,766
無形固定資産		
ソフトウェア	472,993	521,335
その他	10,606	10,606
無形固定資産合計	483,599	531,942
投資その他の資産		
その他	206,988	195,699
貸倒引当金	△6,137	△6,017
投資その他の資産合計	200,850	189,681
固定資産合計	1,247,301	1,278,389
資産合計	4,809,643	4,737,843
負債の部		
流動負債		
未払金	340,056	357,117
賞与引当金	93,504	108,314
その他	155,242	180,299
流動負債合計	588,803	645,731
固定負債		
リース債務	7,945	5,975
株式給付引当金	—	6,300
固定負債合計	7,945	12,275
負債合計	596,748	658,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,997	455,997
資本剰余金	538,374	538,374
利益剰余金	4,252,262	4,091,080
自己株式	△1,034,186	△1,011,681
株主資本合計	4,212,447	4,073,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,989	7,572
為替換算調整勘定	△2,543	△1,507
その他の包括利益累計額合計	446	6,064
純資産合計	4,212,894	4,079,836
負債純資産合計	4,809,643	4,737,843

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年8月31日)
売上高	1,971,874	2,193,873
売上原価	605,488	664,774
売上総利益	1,366,386	1,529,099
販売費及び一般管理費	1,404,947	1,462,027
営業利益又は営業損失(△)	△38,561	67,071
営業外収益		
受取利息	36	702
受取賃貸料	420	420
為替差益	6,683	3,179
その他役務収益	7,578	18,512
その他	13,731	1,610
営業外収益合計	28,450	24,424
営業外費用		
支払利息	81	60
その他役務費用	7,594	21,496
その他	2,295	3,184
営業外費用合計	9,971	24,741
経常利益又は経常損失(△)	△20,082	66,754
特別損失		
投資有価証券評価損	23,708	—
特別損失合計	23,708	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△43,790	66,754
法人税、住民税及び事業税	2,852	15,566
法人税等調整額	△23,471	10,519
法人税等合計	△20,619	26,086
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,171	40,667
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,171	40,667

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△23,171	40,667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△716	4,582
為替換算調整勘定	1,027	1,035
その他の包括利益合計	310	5,618
四半期包括利益	△22,860	46,286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△22,860	46,286

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△43,790	66,754
減価償却費	16,624	17,081
貸倒引当金の増減額(△は減少)	708	△154
賞与引当金の増減額(△は減少)	25,031	14,809
株式給付引当金の増減額(△は減少)	6,300	6,300
受取利息及び受取配当金	△36	△702
支払利息	81	60
投資有価証券評価損益(△は益)	23,708	—
投資事業組合運用損益(△は益)	△9,191	1,303
助成金収入	△1,500	—
売上債権の増減額(△は増加)	60,049	31,040
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,988	1,216
未払債務の増減額(△は減少)	18,053	24,489
未払消費税等の増減額(△は減少)	△48,271	△2,447
未収消費税等の増減額(△は増加)	593	2,019
その他	△28,801	△25,652
小計	13,569	136,118
利息及び配当金の受取額	8,954	4,142
助成金の受取額	1,500	—
利息の支払額	△81	△60
法人税等の支払額	△2,476	△4,707
法人税等の還付による収入	1	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,467	135,494
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,413	—
無形固定資産の取得による支出	△97,988	△66,368
投資有価証券の取得による支出	△27,004	—
敷金及び保証金の差入による支出	△10	—
敷金及び保証金の回収による収入	537	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△132,879	△66,368
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,927	△1,948
自己株式の取得による支出	△98,826	△100,207
配当金の支払額	△80,689	△78,332
財務活動によるキャッシュ・フロー	△181,443	△180,488
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,875	4,468
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△298,730	△106,893
現金及び現金同等物の期首残高	3,396,595	3,034,559
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,097,864	2,927,666

(4) 四半期四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年5月26日 定時株主総会	普通株式	81,456	3	2022年2月28日	2022年5月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

(1) 自己株式の消却

当社は、当第2四半期連結累計期間において、2022年4月14日開催の取締役会決議に基づき、2022年7月15日付で自己株式700,000株の消却を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ123,997千円減少しております。

(2) 自己株式の取得

当社は、当第2四半期連結会計期間において、2022年4月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結会計期間において、自己株式が96,957千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において1,035,208千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年5月25日 定時株主総会	普通株式	79,356	3	2023年2月28日	2023年5月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

(1) 自己株式の消却

当社は、当第2四半期連結累計期間において、2023年4月13日開催の取締役会決議に基づき、2023年7月14日付で自己株式700,000株の消却を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ122,492千円減少しております。

(2) 自己株式の取得

当社は、当第2四半期連結会計期間において、2023年4月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結会計期間において、自己株式が99,987千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において1,011,681千円となっております。

(追加情報)

(役員に対する業績連動型株式報酬制度)

当社グループは、2021年4月8日付取締役会において、当社取締役（社外取締役を除きます。）の報酬と当社の株式価値との連動性をより明確にし、取締役が株価の変動による利益・リスクを株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、株式報酬制度（以下、「本制度」といいます。）の導入を決議し、2021年5月25日開催の第48回定時株主総会において承認決議されました。

(1) 取引の概要

本自己株式処分は、本制度導入のために設定される信託（以下「本信託」といいます。）の受託者である三井住友信託銀行株式会社（信託口）（再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行（信託口））に対して行うものであります。本信託を通じて、当社取締役（社外取締役を除きます。）に対し、当社が定める株式給付規程に従って、役位、業績達成度等に応じて当社株式を給付する業績連動型株式報酬制度であります。なお、役員が当社株式の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当第2四半期連結会計期間末125,994千円、759千株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
求人誌『DOMO』	493,264	—	493,264	—	493,264
ワガシャ de DOMO	709,772	—	709,772	—	709,772
インスタメディア事業	—	235,352	235,352	—	235,352
その他	454,723	78,760	533,484	—	533,484
顧客との契約から生じる収益	1,657,760	314,113	1,971,874	—	1,971,874
外部顧客への売上高	1,657,760	314,113	1,971,874	—	1,971,874
セグメント間の内部売上高 又は振替高	185	8,590	8,775	△8,775	—
計	1,657,945	322,704	1,980,649	△8,775	1,971,874
セグメント利益又は損失(△)	287,332	27,901	315,233	△353,795	△38,561

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△353,795千円は、セグメント間取引消去2,239千円及び全社費用△356,034千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
求人誌『DOMO』	478,825	—	478,825	—	478,825
ワガシヤ de DOMO	846,748	—	846,748	—	846,748
インスタメディア事業	—	222,874	222,874	—	222,874
その他	570,303	75,121	645,424	—	645,424
顧客との契約から生じる収益	1,895,876	297,996	2,193,873	—	2,193,873
外部顧客への売上高	1,895,876	297,996	2,193,873	—	2,193,873
セグメント間の内部売上高 又は振替高	295	8,635	8,930	△8,930	—
計	1,896,171	306,631	2,202,803	△8,930	2,193,873
セグメント利益	394,647	30,328	424,975	△357,904	67,071

(注) 1. セグメント利益の調整額△357,904千円は、セグメント間取引消去2,239千円及び全社費用 △360,143千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。